

1 前提

該当する地域	県下全域 平坦～中山間
設定した経営規模	水田面積36ha、水稲36ha、小麦5.4ha 水稲作業受託 17ha (耕耘・代かき、移植、収穫)
自家労働	3.0 人
その他	①作付体系 1年2作 ②中型機械化体系 ③小麦は自家乾燥調製 ④水稲育苗乾燥調製は委託 ⑤作業受託は一貫

2 作付体系

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次												

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
施設	鉄筋	70 m ²	5,097,000	9	471,298	471,298	15	31,420	8	219,939	100	8,798
トラクタ	54ps	2.0 台	4,938,000	9	456,596	456,596	7	65,228	4	195,684	100	7,827
自脱型コンバイン	4条	2.0 台	6,800,000	9	628,767	628,767	7	89,824	4	269,472	100	10,779
ロータリ	180cm	2.0 台	1,304,000	9	120,575	120,575	7	17,225	4	51,675	50	1,034
ブロードキャスター	300 ^{mm}	2.0 台	508,000	9	46,973	46,973	7	6,710	4	20,131	100	805
草刈機	肩掛け式	3.0 台	150,000	9	13,870	13,870	7	1,981	4	5,944	100	238
溝掘機	ロータリ式	2.0 台	798,000	9	73,788	73,788	7	10,541	4	31,623	100	1,265
バームスプレーヤ	520 ^{mm}	2.0 台	2,727,000	9	252,154	252,154	7	36,022	4	108,066	100	4,323
サブソイラー	1条	2.0 台	398,000	9	36,801	36,801	7	5,257	4	15,772	100	631
籾摺機	揺動型	1.0 台	3,000,000	9	277,397	277,397	7	39,628	4	118,885	100	4,755
穀物計量機	2.4t/h	1.0 台	360,000	9	33,288	33,288	7	4,755	4	14,266	50	285
穀物乾燥機	3t循環式	1.0 台	3,267,000	9	302,086	302,086	7	43,155	4	129,465	50	2,589
普通トラック	3t	2.0 台	9,440,000	9	872,877	872,877	7	124,697	4	374,090	100	14,964
軽トラック	4WD660cc	2.0 台	2,100,000	9	194,178	194,178	7	27,740	4	83,219	50	1,664
合計			40,887,000		3,780,649	3,780,649		504,184		1,638,232		59,957

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
小麦	ミナミノカオリ	条播	380kg	10～30 a 区画	5.4ha

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (% / 10 a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
土壤改良資材 散布	10/上	苦土石灰	100kg	トラクタ プロトキャスト	○土壤分析に基づいて、適切な土壤改 良資材を散布する。	0.1	2.0	0.2	軽油 0.2
畦畔草刈り	10/中			草刈り機		0.5	1.0	0.6	混合 0.6
耕起	10/中～10/下			トラクタ・ロータリー	○砕土率を高めるため、丁寧に行う。	0.3	1.0	0.5	軽油 2.2
排水対策	10/下～11/上			トラクタ・溝掘機 トラクタ・サブソイラー	○額縁明渠を作溝する。 ○本暗渠に直交して4m間隔にサブソイラー で補助暗渠を施工する。 ○補助暗渠は額縁明渠に直結する。	0.2	1.0	0.3	軽油 0.9
							1.0	0.2	軽油 1.3
基肥散布	10/下	塩加磷安284	40kg	動力散布機		0.3	1.0	0.4	混合 0.3
種子消毒	10/下	ベンレートTコート	50ml		○ベフラン液剤25を種子塗沫する。		1.0	0.1	
整地・播種	11/上～11/中			トラクタ・ロータリー シーダー	○播種量は10kgとなるよう調整する。	0.4	1.0	0.7	軽油 2.6
除草剤散布	11/上～11/中	クリアターン乳剤	600ml	ブームスプレーヤ	○10 a 当たり100リットルに除草剤を 溶解して散布する。 ○播種後速やかに散布する。	0.2	1.0	0.6	軽油 0.7
排水管理	11/中～11/下			トラクタ・溝掘機	○5m間隔に明渠を作溝する。	0.1	1.0	0.3	軽油 0.5
追肥	12/下～1/上	NK化成C12号	20kg	動力散布機	○播種後40～45日を目安に散布する。	0.2	1.0	0.3	混合 0.2
排水管理	1/中				○排水溝の手直しをする。		1.5	0.3	
穂肥散布	2/中～下	NK化成C12号	20kg	動力散布機	○(穂肥1回目) 幼穂長2～4mmの時に 10 a 当たり20kg散布する。	0.2	1.0	0.3	混合 0.2
	4/上	〃	20kg		○止葉抽出期に10 a 当たり20kg散布する。	0.2	1.0	0.3	混合 0.2
病虫害防除	4/上	シルバキュアフロアブル	1000倍液	ブームスプレーヤ	○出穂期に10 a 当たり100リットルを 散布する。	0.2	1.0	0.6	軽油 0.7
病虫害防除	4/中	トップジンM水和剤	1000倍液	ブームスプレーヤ	○1回目から10日後に10 a 当たり100 リットルを散布する。	0.2	1.0	0.6	軽油 0.7
実肥	4/下	尿素	10kg		○開花期頃 当たり10kg散布する。	0.2	1.0	0.3	混合 0.2
畦畔草刈り	5/中			草刈り機		0.5	1.0	0.6	混合 0.6
収穫	6/上			自脱型コン バイン	○水分が25%以下となった時期を目 安に収穫を始める。 ○扱胴の回転数は400rpm以下とする。	0.3	1.0	1.0	軽油 1.1
搬送	6/上			軽トラック	○グレンバッグにより搬送する。	0.1	1.0	0.2	ガソリン 0.9
乾燥調製	6/上			穀物乾燥機	○収穫した籾は、その日のうちに乾燥 を始める。 ○水分11%程度を目標にタイマーを設定 し、11.0%に仕上げる。	2.4	1.0	0.2	灯油 8.6
			紙袋 13袋	籾摺り機 穀物計量機	○放冷後、籾摺り、粒選別、袋詰めを 行う。	0.5	2.0	1.2	
出荷	6/中～下			トラック	○出荷場所に運搬する。		2.0	1.5	軽油 2.0
合 計								11.6	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	38,000	小麦 生産量① : 380 kg 単価② : 100 円/kg	
	主産物価額	0	民間流通麦生産量 : kg 単価 : 円/kg	
	主産物価額	0	規格外 生産量 : 単価 :	
	副産物価額④	6,500	麦わら販売	
	計 (A)	44,500		
生産原価	種 苗 費	5,760		
	肥 料 費	10,231	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	4,154	〃	
	諸 材 料 費	0	〃	
	動力光熱費	3,424		
	農 具 費	2,460	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	87	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	779		
	雇 用 労 賃	2,705		
	減価償却費⑤	9,337	別表のとおり	
	土地改良費	0		
	支払地代⑥	6,300		
	小計 (B)	45,237		
費	販売費一般	42		
	管理費	販 売 諸 費	1,968	
		諸税負担金	175	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	412	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	52	借入資本利率2%
		小計 (C)	2,648	
経 営 費 (D)	47,885	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	9,620	農 従 労 働 時 間 : 7.3 生産管理労働時間 0.1 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	51,005	主産物単位当たり 6,711 円/50kg 注) (E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本	流動資本利子⑨	832	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	1,110	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	0			
全算入生産費 (H)	52,947	生産物単位当たり 6,967 円/50kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	-3,385	時間当たり -457 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	-8	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-14,947	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	-5,327	時間当たり -720 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-13,005	注) (M) = (I) - ⑧		

